

南川副地区

地区の特徴

- ✓ 集落内のクリークや道路は、自治会が春・秋の「川を愛する週間」にあわせ4月と9月の第4日曜日に清掃活動をしている。
- ✓ 農用地内のクリークは、その管理者である川副町土地改良区が春(4～5月)と秋(9～10月)にクリーク法面の除草をしている。

南川副まちづくり協議会
生活環境部会 石井部会長

まちづくり協議会で河川清掃

point / きれいなまちを見せたい

まちづくり協議会の河川清掃は、「帰省してくる人にきれいな故郷を見せたい」という思いから始まりました。できるだけきれいな状態を長く保てるように、自治会の清掃と時期をずらしています。

point / 集落と農用地の境界を清掃

自治会や川副町土地改良区の清掃ではカバーできない、集落と農用地の境界部分のクリークをまちづくり協議会で清掃しています。



point / 樋管中心で効率的に

限られた人数で効率的に清掃を行うため、樋管を中心に清掃しています。事前にごみが集まりやすい場所を調査し、ごみの量を点数化して優先度を決め、清掃のコースと場所を地図に落とし込んでいます。

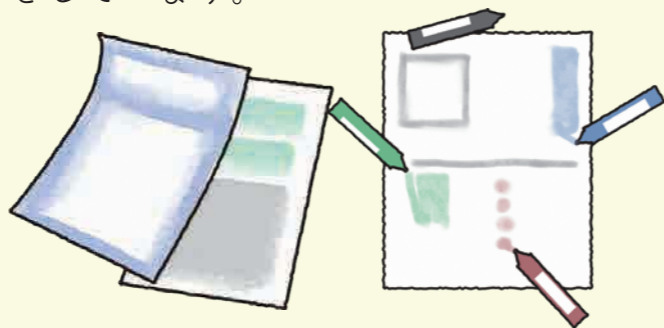
子どもとの交流

point / 小学校で講演

学校からの依頼を受け、南川副小学校4年生を対象に、令和2年から年1回、総合的学習の授業で河川清掃等について講演をしています。この授業をきっかけに、児童から「自分たちも河川清掃に参加したい」との意見が出て、南19区自治会と子ども会との合同清掃が実現しました。

point / 公民館で環境学習の展示

南川副小学校の児童は、授業や佐賀市エコプラザ等の見学で学んだことのまとめとして、毎年、「環境標語」や「環境新聞」を作っています。まちづくり協議会では、この作品をまちの皆さんにも知っていただけるように、南川副公民館で展示公開をしています。



(令和3年9月13日 聞き取り)



これまでも これからも
私たちの川だから



～みんなで取り組んできた河川清掃活動を持続していくために～

佐賀市内の河川清掃は、自分達のまちの川や水路は自分達できれいにしようという思いを持って、各自治会を中心に約40年、それぞれの地域特性に応じたやり方で清掃活動に取り組んできた歴史があります。

しかし、近年は、河川清掃に参加者が集まらない、高齢化して清掃が行き届かないなどの声がいろいろな地区から上がるようになりました。

そこで、佐賀市水対策市民会議と佐賀市では、いろいろな立場の方に河川清掃に参加してもらえるよう「地区ごとに取り組む方が違う」という佐賀市の河川清掃の特徴をふまえ、他の地区の参考になると思われる取り組み事例を収集・発信していくこととしました。

今回は、古賀区地区、川上地区、南川副地区の3地区の皆様にご協力をいただき、地域行事との連携方法やまちづくり協議会で行われている取り組みなどについてお聞きしました。

この情報が皆様の活動の一助になれば幸いです。

企画・発行
佐賀市水対策市民会議・佐賀市
(建設部河川砂防課)

TEL: 0952-40-7182
FAX: 0952-26-7388
メール: kasen@city.saga.lg.jp

このチラシは、佐賀市のホームページでもご覧いただくことができます。

水対策市民会議

検索

※市民参加型の地域情報サイト「つながるさがし」と「河川清掃」で検索すると、地域から発信された河川清掃の取り組みを見ることができます。



古賀区自治会
福田会長

古賀区地区

地区の特徴

- ✔ もともと田んぼだった地域に、昭和40年代から家が建ち始めた。現在は200戸ほどで一戸建てが多く、事業所はほぼない。
- ✔ 河川清掃と夏祭りの準備は、長年継続しており、出席するのが当然という意識があり、多くの住民が集まるコミュニケーションの場となっている。

地域行事との連携

＼point／

初期消火訓練と同日実施

春の河川清掃は、初期消火訓練を合わせて実施しています。清掃を始める前に行うので、全員訓練に参加します。同じ日に自治会総会も行い、行事を集中させて参加しやすくしています。

＼point／

炊き出し訓練と同日実施

秋の河川清掃は、炊き出し訓練を合わせて実施しています。清掃と同時並行でおにぎり300個を作り、河川清掃の打ち上げに利用しています。

＼point／

打ち上げで結束を高める

秋の河川清掃が終わった後に、公園で打ち上げをしています。炊き出し訓練で作ったおにぎりやおかずを味わいます。これで結束が高まっています。



コミュニケーションの取り方

＼point／

事前確認で重点箇所を決定

重点的に清掃をしてほしい川は、事前に伝えてほしいと呼びかけています。清掃の当日は、自治会長が状況を見て回り、人員配置に片寄りがないかを確認しています。

＼point／

若い世代への呼びかけ

年配者が率先して清掃をするので、その子世代である若者も「参加しないと」という気持ちになるようです。親から子へ参加を呼びかける住民もいます。若者は、胴長を着て川に入ったり、道具の後片付けをしたりしています。

＼point／

独自のチラシ作成

市が作った河川清掃のチラシではなく、若者への参加の呼びかけを朱書きし、初期消火・炊き出し訓練のことも盛り込んだ独自のチラシを自治会で作り、回覧板で周知しています。

(令和3年9月13日 聞き取り)

川上地区

地区の特徴

- ✔ 河川清掃だけでなく、與止日女神社や川上公民館の清掃も班単位で当番を回っていて、清掃活動が定例化している。
- ✔ 堤が3カ所あり、法面の清掃は自治会でやっている。



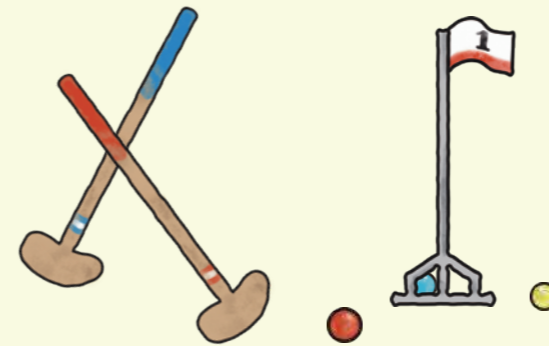
川上自治会
松崎前会長 坂口会長

地域行事との連携

＼point／

グランドゴルフと同日実施

5月3日の河川清掃の後は、毎年決まってグランドゴルフ大会を開いています。河川清掃の参加者が110人程で、その半分の60人程が参加します。河川清掃とともに、住民の親睦の場となっています。



＼point／

防災訓練と同日実施

7月第4日曜日の河川清掃の後に、防災訓練を実施しています。市役所や国交省などから地震や水害についての出前講座を受け、その後、婦人会を中心に防災食の炊き出し訓練をしています。防災食は、参加者の昼食にしています。

コミュニケーションの取り方

＼point／

繰り返し周知する

まずは自治会総会の資料で日程を周知します。回覧板は通常2回まわっていて、清掃当日は朝から有線放送を流します。



＼point／

草刈機の持参者を登録

自前の草刈機を持っている人を35人登録していて、河川清掃のときに堤の草刈りをしています。若い世代も協力してくれています。

＼point／

進捗状況をくまなくチェック

河川清掃当日は、自治会の会長、会計、複数の班を取りまとめる協議人4人の計6人で清掃の進捗状況を見て回るため、問題なく進めることができています。

(令和3年9月8日 聞き取り)